

平成 28 年 10 月 20 日
一般社団法人 日本船主協会 総務部

神戸大学海技教育センター 実習船「白鷗」体験乗船会を開催

当協会は、海運の重要性を一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力を入れており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでいます。この夏には、「海と日本プロジェクト」の一環として「船ってサイコ〜2016 せんきょう夏休みキャンペーン」と銘打ち、船に親しんでいただくための様々なイベントを展開してまいりました。

その最後の企画として、10月15日に神戸港において、神戸大学海事科学研究科海技教育センターの協力の下、実習船「白鷗」の体験乗船会を開催いたしました。

当日は、神戸大学海事科学研究科 廣野准教授、藤本准教授の協力のもと、15名の参加者を乗せ神戸港をクルージングいたしました。クルージング中には、ばら積み船やコンテナ船などの貨物船をはじめ、フェリーやそれに補油するバンカー船、巡視船など様々な船を見ることができました。

また、川崎重工業神戸工場では貨物船や艦船などを海側から間近に見ることができ、子供達から大きな歓声があがりました。乗船前に挨拶をする藤本准教授



さらに、操船の実体験にもチャレンジするなど、普段の生活ではできない体験をすることができました。参加者からは、「実際に船を運転することができて楽しかった」「大きな船を間近で見ることができてビックリした」などの感想が寄せられ、海から見る様々な船や神戸港の姿に大満足していただいた様子でした。

当協会は、今後も皆様の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を展開して参ります。



神戸大橋を通過する白鷗



操船を体験する小学生の参加者